

(3) 総合福祉センター管理運営及び安定拠点の確保

現状と課題

管理運営

- ・花巻市総合福祉センター、石鳥谷総合福祉センター、東和総合福祉センターの3カ所のセンターを管理運営しています。
- ・総合福祉センター3カ所は、いずれも耐用年数50年となっています。
- ・花巻市総合福祉センターは、本所機能として、総務課、地域福祉課、在宅福祉課のほか、養育センターの拠点としています。また、石鳥谷総合福祉センターは、石鳥谷支所、東和総合福祉センターは東和支所の拠点としています。

安定拠点の確保

- ・花巻市総合福祉センターは昭和55年建設、石鳥谷総合福祉センターは昭和57年建設、東和総合福祉センター昭和63年建設で、それぞれ築25年以上が経過し、補修、修繕箇所が出てきており、計画的な維持管理や今後の管理運営のあり方を検討していくことが必要となっています。

目 標

管理運営と安定拠点の確保

- ・総合福祉センター3カ所の管理・運営のあり方等を検討する総合福祉センター管理運営検討委員会を立ち上げ検討します。
- ・養育センターが花巻市の子育てに関する総合的拠点センター移転後の活用方法を検討します。

具 体 策

管理運営と安定拠点の確保

- ・総合福祉センター管理運営検討委員会を設置します。
- ・総合福祉センター管理運営検討委員会の中で、総合福祉センター3カ所のセンターの管理運営方法のあり方、養育センター移転後の活用として、障害者地域活動支援センター移転を検討します。

具体策のスケジュール

(単位：年度)

実施項目	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
総合福祉センター管理運営検討委員会の設置	立上 検討	検討 委員会								
障害者地域活動支援センター移転		検討		移転						

(4) 財源と財政基盤の強化

現状と課題

本会の主な財源

- ・ 本会運営一般会計の主な財源は、会員会費、共同募金配分金、福祉基金まごころ金庫運用益、介護保険や自立支援費からの繰入、花巻市からの補助金、受託金となっています。
- ・ 本会運営の一つの目安としての利益率(※1)(旧会計基準による)は、平成25年度決算で4.6%となっており、概ね事業運営は良好と言えます。
- ・ 個々の財源を見た場合、介護保険事業の収益の減少や補助金、委託金につきましても確定したものでなく、継続して財源を確保し財政基盤の強化を図ることが課題となっています。
- ・ 自主財源である会員会費の世帯納入率は80.4%であり、減少傾向にある中、市内中心部の納入率が特に低くなっています。また、共同募金実績に伴う共同募金配分金についても、減少傾向にあり、人口減少が推測される中での自主財源確保が課題となっています。
- ・ 福祉基金まごころ金庫は、市民や企業、ボランティア団体等からの寄附金と福祉チャリティー開催等による寄附により長年にわたり基金造成を図っていますが、低金利に伴う福祉基金の運用益の減少により、本会運営に必要な長期的な安定財源の確保が課題となっています。

財源の確保

- ・ 本会は地域福祉を推進する団体であり、運営する介護保険事業、障がい者事業等から地域福祉推進費用として、地域への還元を目的とした積立を行い地域福祉推進の自主財源を確保し、福祉サービスを展開する財政基盤の強化に努めていかなければなりません。
- ・ 福祉基金の運用につきましては、利付国債債券ほか、市内金融機関へ定期預金としており、

運用益は、主に法人運営、ボランティア活動、福祉センター管理運営等に向けてきましたが、市民にあまり理解されていません。特定分野の取り組みに活用することも検討が必要となっています。

※1 利益率

事業活動収支差額を事業活動収入で割って得た数字で、全国社会福祉協議会が健全な経営指標としているものです。適正な会計を行ったにもかかわらず、利益率 10%を超える場合は、人件費水準が極端に低い、研修等職員の資質維持向上のコストを十分使っていないなどの判断基準となります。

目 標

本会財源と確保

- ・花巻市と本会は、地域福祉を推進する車の両輪であり、花巻市保健福祉総合計画を具体的に推進する団体として、地域福祉を推進する事業運営費の補助率 100%を基本に継続的に花巻市と協議を行いながら安定した補助金、受託金の確保に努めます。
- ・法人運営を含めた各事業(委託事業、補助事業を除く)においては、収入の目標額を設定し人件費積立、修繕費・施設整備積立等を計画的に行います。
- ・本会が介護保険事業を実施する目的として、事業から得た収益は市民に還元していくとの考えから、事業の効率性を図りながら継続して法人運営への繰入及び地域福祉推進費用を積立てながら財政基盤の強化に努めます。
- ・社協会費、共同募金配分金につきましては、使いみち等を市民に分かりやすく示しながら、会費、募金への理解を得るとともに、賛助会員、団体会員、特別会員の開拓を役職員一体となって進めます。
- ・福祉基金については、安全確実、かつ有利な管理運用に努め、当面の間は、期間 5 年以内の日本国債にて管理します。基金の目的、使途を明確にし、市民の理解が得られるよう積極的な啓発に努めます。

具 体 策

本会財源の確保と活用

- ・行政には本会の事業運営に関する資料等の詳細を示しながら情報交換、情報共有の場を定期的に設け行政の理解を求めていきます。
- ・介護保険事業の現状分析を常に行いながら、効率的な事業運営に努めるとともに、地域福祉推進費用の繰入目標を設定するほか、人件費積立、修繕費積立、車両・備品積立の目標額を設定し計画的に積立て安定財源の確保に努めていきます。
- ・会費及び福祉基金運用益につきましては、ボランティア活動の推進、社協の集い等市民啓発事

業のほか、地域福祉づくりに重点的に充当し、その内容を分かりやすくはなまき社協情報、ホームページ等で伝え市民の理解をいただくとともに、共同募金の使いみちについても、共募専用会報等を作成するなどの市民啓発に努めます。

- ・賛助会員、団体会員、特別会員の開拓等を含め会員の加入率を上げ、特に企業等への特別会員開拓に向けた役員等で構成するプロジェクトチームの立ち上げをめざします。

具体策のスケジュール

(単位：年度)

実施項目	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
行政との情報交換会の実施										→
介護保険事業等繰入目標額の設定	検討									→
会費及び共同募金、福祉基金運用益の使いみちの啓発										→
プロジェクトチーム立ち上げと特別会員開拓	検討	立ち上げと開拓強化								

(5) 人材育成とコンプライアンス（法令遵守）の推進

現状と課題

現状と推進状況について

- ・本会の職員数は正規職員、常勤嘱託職員、非常勤職員、パート職員を含めて 282 名(平成 26 年 10 月 1 日現在、パート職員含)となっています。
- ・様々な職種、部署で業務を行っていますが、職員全員が地域福祉を推進する組織の一員としての自覚を持ち、業務遂行に当たることが必要です。
- ・職員の意識統一を図ることを目的に、全職員によるコンプライアンス、接遇、ビジネスマナー等テーマを設けて研修会を実施しています。

- ・ 職員の自己啓発を促し資質向上を図る目的として、職務に関連する資格取得に係る経費の一部を支援しています。
- ・ 他機関主催の研修会等への参加を積極的に促し、職員の人材の育成と資質向上に努めていますが、研修で得られた情報等を職員全体で共有することが必要です。

< 本会職員資格取得状況（重複あり） >

（平成 26 年 10 月 1 日現在）

資格名	人数	資格名	人数
社会福祉士	15人	社会福祉主事	46人
精神保健福祉士	10人	保健師	4人
介護福祉士	81人	看護師	23人
介護支援専門員(ケアマネジャー)	44人	准看護師	5人
介護職員初任者研修修了者 (ヘルパー1級、2級含む)	148人	保育士	21人
		作業療法士	3人

（パート職員含む）

目 標

推進状況について

- ・ 職員一人ひとりが誇りと価値観を共有しながら、地域福祉推進の担い手であることを自覚し市民から信頼されるよう行動し、本会に対する社会的な期待に応えるために、自覚と責任ある行動をめざします。
- ・ 本会のあるべき姿を全職員が共有し、新たな研修体系を整備します。
- ・ 職員の資質向上及びスキルアップを目的とした職務に関連する資格取得を一層推奨し支援を継続的に行います。
- ・ 個人情報保護には、十分配慮し情報の管理を徹底します。

具 体 策

推進状況について

- ・ 全職員を対象とした職員研修を継続実施し、特にコンプライアンスの徹底については研修のシリーズ化等意識向上に努めます。
- ・ 個人情報の保護には十分配慮するため、研修の充実を図ります。
- ・ 職種や部署毎の研修会の実施を検討するほか、初任者研修、中堅職員研修、管理職を対象とした研修会を実施します。

・外部研修への積極的な参加と、そこから得られた情報やスキル等の効果を部署内で十分共有が図られるよう、研修会資料の回覧等の徹底や、参加職員による報告会等を実施します。

具体策のスケジュール

(単位：年度)

実施項目	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
職員全体研修会の実施										→
初任・中堅・管理職を対象とした研修会の実施										→
外部研修参加職員による報告会の実施										→
資格取得に向けた支援										→